

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(1998.9.1~9.30)

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』479号(1998年10月号)

図書受入

| | 和 書 | 洋 書 | 計 |
|-----|-----|-----|----|
| 購 入 | 60 | 0 | 60 |
| 受 贈 | 37 | 0 | 37 |
| 合 計 | 97 | 0 | 97 |

閲覧サービス

閲覧

| | |
|------|-----|
| 開館日数 | 22日 |
| 閲覧人員 | 51名 |
| 貸出図書 | 42冊 |

コピーサービス

| | | |
|-----|-----|-------|
| 学 外 | 32件 | 2918枚 |
| 学 内 | 5件 | 81枚 |

日 誌

- 1日 私立大学図書館協会レファレンス分科会
(~3日, 於: 文化軽井沢山荘, 遊座圭子参加)
- 16日 事務会議
- 18日 見学来所: 小谷紘司他1名(全国商工団体連
合会中小企業工業研究所)
- 19日 加齢過程における福祉研究会
報告者 椎名美純(柿生病院長)
テーマ 「いま高齢者にとってよい医療とは」
- 22日 『日本の労働組合100年(仮題)』第1回編集
委員会
- 25日 第12回国際労働問題シンポジウム
- 28日 田沼肇氏(法政大学名誉教授)より原水禁運
動関係資料受贈(段ボール2箱)
- 30日 研究会会議
第5回運営委員会

議題 諸報告

専任研究員の選考について

その他

大原社会問題研究所利用のご案内

利用できる方: 特に制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでも利用できます。

* 入口脇のロッカーに鞆を入れ, 必要な筆記用具のみお持ちください。

開館時間: 平日 9:30~16:30

土曜 9:30~12:00

* 夏期休暇中は 平日9:30~16:00 土曜休館

* 他に大学の休日等により休館することがあります。

閲 覧: 閉架式です。カード目録等で検索のうえ
閲覧票に所定事項, 希望する図書・資料名をご
記入のうえ請求してください。

複 写: B5・A4: 30円 B4・A3: 40円

法政大学教職員・学生: 10円

* 貴重書・劣化の激しい資料・製本新聞はでき
ません。

* 提供した資料等のコピーは, コピーを依頼され
た方(機関)があらかじめ明示した使用目的以
外には利用しないでください。とくに当研究所
の許可なしに写真撮影, 印刷等いかなる方法に
よっても再コピーなさらぬように願います。

写真撮影等の利用: 各1点につき下記の料金・条
件でいたします。所長あてに「許可願」を出し
てください。

戦前資料 戦後資料

モノクロ 1,500円 1,000円

カラー 3,000円 2,000円

・撮影したネガフィルム1枚は研究所に寄贈して
いただきます。

・掲載資料には, 当研究所所蔵資料である旨を明
記し, 出版物1点を寄贈していただきます。

展示会等への特別貸出し: 目的・資料名を明記し
た「借用願」を出してください。

大原社会問題研究所雑誌 No.482(1999年1月号)

1999年1月25日発行

定価 1,000円(本体952円), 年間購読料12,000円

編集人 早川征一郎

発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 早川征一郎

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会問題・労働問題に対する論文，調査報告，書評を広く募集しています。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 原稿は，ワープロ原稿による未発表のものに限ります。
2. 論文の長さについては，400字詰原稿用紙50枚程度が望ましい（図表を含む）。
3. 本誌に初めて投稿する場合には，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
4. 編集委員会で審査のうえ，採否をご連絡します。
5. 原稿2部を下記まで送付してください。
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要項

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
（例）法政大学大原社会問題研究所編『《連合時代》の労働運動』総合労働研究所，1992年，10頁。
B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「他」の方式も可とする。
C. 論文については，執筆者名，論文名（「」で囲む），掲載雑誌名（『』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。
（例）加藤讓治「ポストモダニズムと労働組合」『大原社会問題研究所雑誌』404号，1992年7月。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上